

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成26年度第1四半期分)

法人名	独立行政法人 国際農林水産業研究センター	
案件番号	1	
入札及び契約方式	企画競争	
契約の件名及び数量	研究委託契約(交付金プロジェクト) 遺伝情報を利用したSSRマーカーによるエリアンサスの遺伝的多様性解析と属間雑種の評価	
契約締結日	平成26年5月9日	
契約の相手方の商号又は名称等	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所	
入札経緯及び結果	平成26年3月18日 企画競争の公募公告 平成26年4月18日 応募〆切 平成26年5月7日 契約予定先の決定	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	委託研究の目的及び内容が応募者に分かり易いものとなるよう、仕様書を精査した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	要員配置等に支障がない期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	引き続き、公告期間を休日を除き10日以上確保した。 (平成25年度:18日、平成26年度:23日)
④公告周知方法の改善	○	平成25年度に引き続き、(独)科学技術振興機構産学官連携支援データベースに掲載した。また、JIRCASNewsに掲載を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	現在検討中
⑥業者等からの聴き取り	×	平成26年度は、契約相手方以外に関係資料の受領者がいなかったため聴き取ることができなかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<p>一者応札の改善策として、平成25年度からJIRCASNewsに掲載を行うと共に、平成24年度から実施している(独)科学技術振興機構産学官連携支援データベースに掲載を行い、周知拡大に努めた。また、公告期間(23日の期間を確保)の延長による十分な準備期間の確保を図ったが、今後も一層の改善を図って参りたい。</p> <p>なお、昨年度の契約監視委員会からの指摘事項について、プロジェクト検討会の評価に基づき、2年間の複数年契約を締結した。</p>		
契約監視委員会のコメント		
プロジェクト検討会で評価を行い、2年間の複数年契約を採用し、締結されていたことは評価できる。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も引き続き、上記の取り組みを実施し、委託研究の公平性・透明性を図って参りたい。		

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成26年度第1四半期分)

法人名	独立行政法人 国際農林水産業研究センター	
案件番号	2	
入札及び契約方式	企画競争	
契約の件名及び数量	研究委託契約(交付金プロジェクト) ゲノム解析によるギニアヤム育種基盤の確立	
契約締結日	平成26年5月12日	
契約の相手方の商号又は名称等	公益財団法人岩手生物工学研究センター	
入札経緯及び結果	平成26年3月18日 企画競争の公募公告 平成26年4月18日 応募×切 平成26年5月7日 契約予定先の決定	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	委託研究の目的及び内容が応募者に分かり易いものとなるよう、仕様書を精査した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	要員配置等に支障がない期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	引き続き、公告期間を休日を除き10日以上確保した。 (平成25年度:18日、平成26年度:23日)
④公告周知方法の改善	○	平成25年度に引き続き、(独)科学技術振興機構産学官連携支援データベースに掲載した。また、JIRCASNewsに掲載を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	現在検討中
⑥業者等からの聴き取り	×	平成26年度は、契約相手方以外に関係資料の受領者がいなかったため聴き取ることができなかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札の改善策として、平成25年度からJIRCASNewsに掲載を行うと共に、平成24年度から実施している(独)科学技術振興機構産学官連携支援データベースに掲載を行い、周知拡大に努めた。また、公告期間(23日の期間を確保)の延長による十分な準備期間の確保を図ったが、今後も一層の改善を図って参りたい。 なお、昨年度の契約監視委員会からの指摘事項について、プロジェクト検討会の評価に基づき、2年間の複数年契約を締結した。		
契約監視委員会のコメント		
プロジェクト検討会で評価を行い、2年間の複数年契約を採用し、締結されていたことは評価できる。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も引き続き、上記の取り組みを実施し、委託研究の公平性・透明性を図って参りたい。		

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成26年度第1四半期分)

法人名	独立行政法人 国際農林水産業研究センター	
案件番号	3	
入札及び契約方式	企画競争	
契約の件名及び数量	研究委託契約(交付金プロジェクト) 熱糊化特性を指標としたヤム澱粉特性簡易評価法の開発	
契約締結日	平成26年5月19日	
契約の相手方の商号又は名称等	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所	
入札経緯及び結果	平成26年3月18日 企画競争の公募公告 平成26年4月18日 応募〆切 平成26年5月7日 契約予定先の決定	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	委託研究の目的及び内容が応募者に分かり易いものとなるよう、仕様書を精査した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	要員配置等に支障がない期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	引き続き、公告期間を休日を除き10日以上確保した。 (平成25年度:18日、平成26年度:23日)
④公告周知方法の改善	○	平成25年度に引き続き、(独)科学技術振興機構産学官連携支援データベースに掲載した。また、JIRCASNewsに掲載を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	現在検討中
⑥業者等からの聴き取り	×	平成26年度は、契約相手方以外に関係資料の受領者がいなかったため聴き取ることができなかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札の改善策として、平成25年度からJIRCASNewsに掲載を行うと共に、平成24年度から実施している(独)科学技術振興機構産学官連携支援データベースに掲載を行い、周知拡大に努めた。また、公告期間(23日の期間を確保)の延長による十分な準備期間の確保を図ったが、今後も一層の改善を図って参りたい。		
契約監視委員会のコメント		
プロジェクト検討会で評価を行い、締結されていたことは評価できる。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も引き続き、上記の取り組みを実施し、委託研究の公平性・透明性を図って参りたい。		

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成26年度第1四半期分)

法人名	独立行政法人 国際農林水産業研究センター	
案件番号	4	
入札及び契約方式	企画競争	
契約の件名及び数量	研究委託契約(交付金プロジェクト) イネいもち病抵抗性に関する国際標準判別いもち病菌菌系の選定とコアコレクションの開発	
契約締結日	平成26年5月7日	
契約の相手方の商号又は名称等	独立行政法人農業生物資源研究所	
入札経緯及び結果	平成26年3月18日 企画競争の公募公告	
	平成26年4月18日 応募×切 平成26年5月7日 契約予定先の決定	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	委託研究の目的及び内容が応募者に分かり易いものとなるよう、仕様書を精査した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	要員配置等に支障がない期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	引き続き、公告期間を休日を除き10日以上確保した。 (平成25年度:18日、平成26年度:23日)
④公告周知方法の改善	○	平成25年度に引き続き、(独)科学技術振興機構産学官連携支援データベースに掲載した。また、JIRCASNewsに掲載を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	現在検討中
⑥業者等からの聴き取り	×	平成26年度は、契約相手方以外に関係資料の受領者がいなかったため聴き取ることができなかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札の改善策として、平成25年度からJIRCASNewsに掲載を行うと共に、平成24年度から実施している(独)科学技術振興機構産学官連携支援データベースに掲載を行い、周知拡大に努めた。また、公告期間(23日の期間を確保)の延長による十分な準備期間の確保を図ったが、今後も一層の改善を図って参りたい。 なお、昨年度の契約監視委員会からの指摘事項について、プロジェクト検討会の評価に基づき、2年間の複数年契約を締結した。		
契約監視委員会のコメント		
プロジェクト検討会で評価を行い、2年間の複数年契約を採用し、締結されていたことは評価できる。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も引き続き、上記の取り組みを実施し、委託研究の公平性・透明性を図って参りたい。		

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成26年度第1四半期分)

法人名	独立行政法人 国際農林水産業研究センター	
案件番号	5	
入札及び契約方式	企画競争	
契約の件名及び数量	研究委託契約(交付金プロジェクト) 殺ダニ剤アミトラズ耐性マダニの迅速診断法の開発	
契約締結日	平成26年5月23日	
契約の相手方の商号又は名称等	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所	
入札経緯及び結果	平成26年3月18日 企画競争の公募公告 平成26年4月18日 応募〆切 平成26年5月7日 契約予定先の決定	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	委託研究の目的及び内容が応募者に分かり易いものとなるよう、仕様書を精査した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	要員配置等に支障がない期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	引き続き、公告期間を休日を除き10日以上確保した。 (平成25年度:18日、平成26年度:23日)
④公告周知方法の改善	○	平成25年度に引き続き、(独)科学技術振興機構産学官連携支援データベースに掲載した。また、JIRCASNewsに掲載を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	現在検討中
⑥業者等からの聴き取り	×	平成26年度は、契約相手方以外に関係資料の受領者がいなかったため聴き取ることができなかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
一者応札の改善策として、平成25年度からJIRCASNewsに掲載を行うと共に、平成24年度から実施している(独)科学技術振興機構産学官連携支援データベースに掲載を行い、周知拡大に努めた。また、公告期間(23日の期間を確保)の延長による十分な準備期間の確保を図ったが、今後も一層の改善を図って参りたい。 なお、昨年度の契約監視委員会からの指摘事項について、プロジェクト検討会の評価に基づき、2年間の複数年契約を締結した。		
契約監視委員会のコメント		
プロジェクト検討会で評価を行い、2年間の複数年契約を採用し、締結されていたことは評価できる。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も引き続き、上記の取り組みを実施し、委託研究の公平性・透明性を図って参りたい。		

一者応札・応募等事案フォローアップ票(平成26年度第1四半期分)

法人名	独立行政法人 国際農林水産業研究センター	
案件番号	6	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	情報セキュリティ管理業務	
契約締結日	平成26年4月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	カスタマシステム(株)プラットフォームソリューション事業部	
入札経緯及び結果	平成26年3月24日 入札公告	
	平成26年4月10日 入札書等不切	
	平成26年4月18日 開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	平成26年度については、業務時間についての見直しを行った。また、引き続き、導入しているグループウェア以外での運用管理経験も「可」とする要件の緩和を行った。
②業務等準備期間の十分な確保	○	要員配置等に支障がない期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	引き続き、公告期間を休日を除き10日以上確保した。
④公告周知方法の改善	○	JIRCASホームページにRSSシステムを導入。(平成22年8月)
⑤電子入札システムの導入	×	現在検討中
⑥業者等からの聴き取り	○	入札説明書を交付したが、入札参加を辞退した業者へのアンケートを行った。
⑦その他	○	引き続き、郵便入札を実施した。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
仕様書の作成にあたっては、平成25年度まで8:30~12:00までとしていた業務時間を見直し、8:30~17:15とした。また、業者への入札説明会を開催するなどしたが、仕様書を受領する業者は複数あるものの、一者応札の解消には至らなかった。引き続き、さらなる改善の可能性について検討を行うこととしたい。		
契約監視委員会のコメント		
改善の取り組みは実施されているが、同種の業者等に聞き取りを行うなどの情報収集により、改善すべき事項があれば今後改善すること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
同種の業者への聞き取り等を行い仕様書等の改善の可能性について引き続き検討してまいりたい。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
鈴木委員、高橋委員、中川委員、北條委員		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。